

外国人児童生徒等へのオンライン支援！

オンライン日本語教室

小グループで集中的に学習し、学校生活に必要な日本語の力を身に付けます。日本語の先生がやさしくゆっくり日本語を教えます。

オンライン通訳

母語支援を必要とする児童・生徒・幼児やその保護者と学校の先生が面談等を行う際に通訳者を配置します。対応言語はポルトガル語・中国語・タガログ語・スペイン語・英語・ベトナム語等です。



昨年度活用した学校の声

- 言葉への理解を深めるとともに、その周辺の関連事項にも興味を広げることができました。(日本語教室)
- 少人数のアットホームな空間で、積極的に話す練習ができました。(日本語教室)
- これまでの懇談より、保護者の思いを聞くことができました。(通訳)
- 日常の様子など細かく伝えることができました。(通訳)

問合せ先 幼小中教育課 ☎077-528-4665

第70回 滋賀県人権教育研究大会(長浜大会)

大会テーマ 「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」

全体会 10月24日(土) 12:30～16:20 虎姫文化ホール
(サテライト会場：長浜市立長浜小学校、長浜市立湖北中学校)

分科会 10月25日(日) 9:20～14:25
長浜市立東中学校、長浜市立南郷里小学校、
長浜市立北郷里小学校

特別分科会 10月25日(日) 9:20～14:25
北郷里まちづくりセンター

今年度、長浜大会の現地大会テーマは、

「みんなが安心して輝ける居場所をめざして
～気づき・つながり・そして行動へ～」

問合せ先 人権教育課 ☎077-528-4592

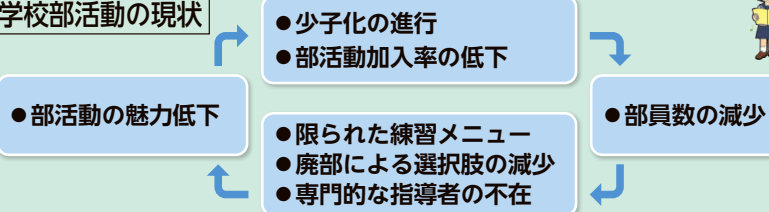
詳細は滋賀県人権
教育研究会HPへ



子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しめるように……

部活動の地域連携・地域展開に関わる指導者を募集しています！

中学校部活動の現状



運動部の選択肢が2つしかない学校や部員が1名しかいない部活動もあります。また、競技経験のない教員が顧問を担っている部活動も多くあるのが現状です。

複数校での連携や地域人材による活動サポート(地域連携)、
学校の枠を超えた地域クラブ活動(地域展開)が必要

地域連携・地域展開には、多くの地域指導者が必要ですが、
滋賀県の部活動に関わる地域指導者数は全国でも最低水準…
(生徒1人あたりの地域指導者数は全国46位)

そこで

滋賀コーチバンクシステムのご案内

「滋賀コーチバンクシステム」は、地域指導者を必要としている部活動や地域クラブ活動と、指導者として協力・サポートいただける方々をお繋ぎする人材バンクシステムです。少しでもご関心をお持ちの方は、ぜひホームページをご覧ください。

こんな人を求めています！

- 子どもやスポーツが好きな人
 - 子どもたちへの指導に興味がある人
 - 自身の競技経験を子どもたちに伝えたい人
- ※資格や指導経験は不要です。

詳細はコチラから



コーチバンクに登録すれば、こんな良いこと！

- 自身の知識やスキルを教えることで、子どもたちの成長を実感できます
- 地域の一員としての活動を通じて、人脈やコミュニティが広がります
- 好きな競技に関わりながら、報酬を得ることができます

<記載内容は計画段階のものであり、変更となる可能性があります>

出前授業などのイベントを随時開催しています。詳しい情報はこちらをチェック！

公式HP

公式Instagram

滋賀県立高等専門学校は、令和10年(2028年)4月開校予定です！

(設置認可申請中)

設置認可申請を行い、いよいよ開校が近づいてきました。
今回は、学校のコンセプトや理念など、どのような方針で教育を行うのかを紹介します。

教育の特色

子どもたちに「50年の幸せなエンジニア人生」を

県立高専は工学(エンジニアリング)の学校です。県立高専を卒業した学生はその多くが、エンジニアとして生きていくことになるでしょう。社会に出て50年間続くエンジニアとしての人生が幸せであるように…。そう願って、私たちは、自ら歩んでいくための基礎力の育成を重視しています。

知識と実践力の融合「知行合一」

「知行合一」とは、近江聖人、中江藤樹が広めた陽明学の概念です。県立高専では、これを専門知識と合理的な行動力の融合ととらえ、両者のバランスのとれた実践教育を目指します。

①工学を幅広く学ぶ



工学を幅広く学び、協働できる技術者へ

②AI・情報を全員学ぶ



全ての学生がAI・プログラミングを学ぶ

③実験・実習が豊富



低学年から実験・実習、インターンシップ

④1クラス30人



少人数教育なので先生との距離が近い

問合せ先 公立大学法人滋賀県立大学 高専開設準備局 お問合せは公式HPの専用フォームからお願いします。

友だちの言葉を聞いて、ふと先日のことを思い出しました。その時は、私の少し前で、エスカレーターの右側に立っている方がおられました。その方は、右手で手すりをしっかりと持ち、体を支えておられるように見えました。「急いでいる人が通れなくなってしまうのではないか。」そんなことを考えていると、後ろから駆け上がったきた人が、その方のすぐ後ろで立ち止まり、前をのぞき込むようにしました。「やっぱり。」内心私はそう思っていました。

私は、急いでいる人のことばかりを考え、右側に立っている方がどのような方で、どんな思いで立っておられたのか、考えようとしていませんでした。もしかすると、その方は、右側にしか立つことができず、常に不安な気持ちだったのかもしれない。そう考えると、私のあたりまえが、その方を不安にさせていたかもしれないと気づきました。

「みんながしているから。」それが普通だから。」ではなく、日常にある小さなあたりまえを見直すことが大切だと学びました。

(人権教育課作成)

みんなで考える
シリーズ人権教育

「あたりまえを見直すこと」

